

執行委員長
新年の挨拶

明けましておめでとうございます。今年も瀬戸市教労結成30周年になります。

子どもたちの教育を豊かにするために45人学級から40人学級へ、そして35人学級への流れを作りました。

教職員の長時間労働を是正し、健康を守り当たりました。

教職員の権利を守り、これからの運動を進めていきます。

甲斐 雄彦



【転任人事】

1. 基本的事項
2. 本人の希望と承諾を原則とし、文書で正確に把握し、意に反する異動は行わないこと。
3. 人事異動は労働条件の変更であり、組合との話し合いを行うこと。
4. 校長の恣意的な人事が行われないようにすること。
5. 学閥や組合の所属如何による差別人事を行わないこと。
6. 教務・校務主任は学級対応分として扱い、中間管理職としないこと。
7. 「指導力向上を要する教員」を選定しないこと。
8. 「主幹」「指導教諭」を廃止すること。
9. 「再任用」は年金削減の代償措置であり、希望通り採用すること。

【昇任人事】

1. 校長は教職員の希望や事情を文書で正確に把握し、確実に具申するよう徹底すること。
2. 本人の希望に反する異動を決定した場合、速やかに本人に知らせること。
3. 下記の事項に該当する教職員については本人の希望以外、異動させないこと。
4. 産休、育休、妊娠中の者。
5. 健康上事情のある者。
6. 育児、保育に事情のある者。(4月1日復職の者)
7. 家庭に介護を必要とする人を抱えている者。
8. 高年齢の者。
9. その他、家庭生活に特に事情のある者。
10. 広域人事は行わないこと。
11. 下記事項については、特段の配慮をすること。
12. (1) 通勤時間1時間以上の者は希望を優先させること。
13. (2) 管外からの通勤者については、希望を優先させること。
14. (3) 管外、他市町村への異

【昇任人事】

1. 昇任人事にあたっては、下記のように行うよう県教委に申し入れること。
2. 校長・教頭の任用については、下記の事項をふまえること。
3. (1) 憲法に基づく教育を進め、一人ひとりの学習権を保障する立場に立ち、人格・識見・力量とも優れていること。
4. (2) すべての教職員を信頼し、努力や創意を大切に、個々の教職員の家庭や健康に配慮するなど、人間味あふれる教師としての信頼の厚い人物であること。
5. (3) 長時間勤務を放置せず労働基準法・労働安全衛生法を遵守する人物であること。
6. (4) 教職員・父母の声を尊重し、論議を尽くして合意形成を進めるなど、民主的に学校運営が出来る識見・力量を持つていること。
7. (5) 恫喝を始め、パワーハラスメント・モラルハラスメント等で教職員の人格を侵害したりして職場を混乱させない人物であること。
8. 管理職任用制度を改善し、一定の条件を満たせば、誰でも公平に機会を与えられるようにすること。選考基準・結果を公表し、明朗・公正に行うこと。
9. 学閥・人脈・金品の授受など、情実に左右されないこと。

※詳細はHPをご覧ください。

◆2022年度義務教育の教職員定数の増減

小学3年生で35人学級の実現	3290人
通級指導や外国人児童生徒への日本語指導	370人
小学校高学年での教科担任制の推進等	1030人
定数改善計	4690人
少化による基礎定数減	-3947人
少子化による加配定数減	-455人
35人学級実現のための加配定数振り替え	-750人
教科担任制推進のための加配定数振り替え	-280人
その他・学校統廃合など「合理化」減	-1760人
国庫負担金の算定方法の「適正化」	-約800人
定数減計	-79992人

差し引き

-3302人

(赤旗 2021.12.25)

教職員等の増員の報道がありましたが、実は教職員を3000人も削減するといふもので、非正規職員も多く、現場は相変わらず余剰が不足です。教育内容の充実のために教職員の大幅増員と教職員の正規化が求められます。

瀬戸市は22年度の人事異動に関する要求書を市教委に提出しました。

2022年度
人事異動
要求書提出

重し、論議を尽くして合意形成を進めるなど、民主的に学校運営が出来る識見・力量を持つていること。

(5) 恫喝を始め、パワーハラスメント・モラルハラスメント等で教職員の人格を侵害したりして職場を混乱させない人物であること。

2. 管理職任用制度を改善し、一定の条件を満たせば、誰でも公平に機会を与えられるようにすること。選考基準・結果を公表し、明朗・公正に行うこと。

3. 学閥・人脈・金品の授受など、情実に左右されないこと。

教科担任制(小学校)

来年度から小学校5、6年生で導入を目指す「教科担任制」(英語・理科・算数・理科が優先)に、文科省は教員2000人の加配が盛り込まれましたが、財務省からの圧力です。1030人の改善にとどまりました。そのうち280人は別の加配からの振り替えです。

22年度の
文教予算案

岸田内閣が24日に閣議決定した来年度予算案の教員定数についてお知らせします。

